



愈よ三井鑛の復活

磐炭の長倉坑から

今二十一日磐炭重役會に於て 百五十萬圓の合辦確定

石城郡磐炭村に於ける三井炭 たい希望の下に折衝中であつたの水没山復活計画は既報の如く磐炭炭礦と共同出資する百五十萬圓の獨立鑛を起し三井の所有する三百萬圓の鑛を以て一時の食ひ繋ぎを圖るに十二、三萬噸に過ぎないり鑛炭に於ける作業費並に設備費(出炭を見るまで)を七十五萬圓として、提携は今二十一日磐炭側の重役會に於て愈よ方針を決定した模様であつて兩社相結ぶ迄の経緯は三井側では最初七十五萬圓の物資提供を直ちに磐炭の持株にしたい意向であつたが之れに對して磐炭炭礦では着炭までに少なくも二十年を要する同礦の復活を直ちに合併の形式を願ふは右二十年間無形のものに利益配當を爲さねばならぬ不利があるとの見解を述べると同時に復活の同礦を合併し

總出荷一萬貫を豫想する

晚秋の四倉市場

平均見つもりは 十八圓台か、十九圓台か

廿一日四倉市場取扱ひの晩秋期相場は最高拾八圓九角、最低十五圓四角、平均は十七圓台であつたが、初日の爲か非常に品薄で出廻りは僅か九十貫であつた、然し關

平日日曜 郵送月五圓 郵送月十圓 郵送月十五圓 郵送月二十圓 郵送月二十五圓 郵送月三十圓 郵送月三十五圓 郵送月四十圓 郵送月四十五圓 郵送月五十圓 郵送月五十五圓 郵送月六十圓 郵送月六十五圓 郵送月七十圓 郵送月七十五圓 郵送月八十圓 郵送月八十五圓 郵送月九十圓 郵送月九十五圓 郵送月一百圓

常識講座

アンビションは慾望と 野心、大望の意である、其國が極東に對して限りなき野心を抱き巧な外交工作で海軍を備縮少問題その他皆アンビションによる等と云ふ

生活改善の要綱

本縣社會課の指示に係る 竹二圓を筆頭に菊水(世紀)十錢、竹一圓三十錢、大白の(同價)長十郎の鶴一圓八十錢、鶴二圓九十錢、鶴一圓八十錢、鶴一圓七十錢、松一圓五十錢、竹一圓三十錢

防婦人會の後援

来る十月三日、日東郡一流の落語家金語樓師を招き午後六時半から同町聚樂館に於て同師一行の技に一般の應衆を迎ふる筈だが笑ひの王者達舌の番組は左記の如くである

本縣社會課の指示に係る

て年始中元歳暮その他の贈答禁止外三項

内郷村の匡教補助工事竣工

総工費五千五百圓

かねてより長い懸案であつた内郷村御台境より丸山に至る延長千メートルに亘る匡教道路の補助工事は總工費五千五百圓を要し本日竣工を見たので小林平土木監督所長は沼田村長と共に檢閲を行つた

梨果品評即賣會

廿一日より廿三日迄三日間に亘つて

廿一日より廿三日迄三日間に亘つて平野警察署禮堂に梨果品評會が開かれた。梨果品評會は二百七十箱、品種は廿世紀、菊水、長十郎、大白、白鶴は廿世紀の鶴二圓七十錢、鶴二圓六十錢、松二圓四十錢、龜

委員會

平町の水道

平町では来る二十一日午前十時から町役場に水道委員會を開催の筈だが玉川村から借入を申込みられた同村矢田川の改修工事に使用する(九封度乃至十二封度)六百圓を來る十月一日から十二月三十一日まで三ヶ月間相當食料で貸付する相談である

國道舗装

漸く竣工

平町の國道舗装は本月末までに本年度工事を竣功するので受給資金の整理を急いでゐるが町では今二十一日關係各區に右納入の周知方を通牒した

勿來町會

勿來町役場に於ては来る廿六日午後一時から町會を招集本年度豫算更正戸數割賦時賦課額を決定する

米の共同販賣

勿來倉庫の 拾圓六拾壹錢

勿來農業倉庫の在庫米の共同販賣は廿一日平野農業倉庫で行はれた。賣上高は五等五十六俵等外一俵計五十七俵価格は十圓六十一錢であつた

穀檢勿來出張所

新築落成式

穀檢勿來出張所は此の程驟前建設業庫側に落成を見たので來る十月一日盛大に新築落成式を舉行する

柳家

金語樓

三日來樂語で開演 平町在神軍八分主住同町國 赤塚彦治 鈴木重助 金子豊吉 津谷佐一 市原卯太郎 子重次 石崎幸一 森川泰一 伊藤真一 安齋勝美 平 北佐三郎 水口ハヤ 日 澤キクエ 飯沼林一 石川ト 藤 眞木隆四郎 齋藤善吉 鈴 木千代吉 鈴木信雄 金子直 水口久次郎 佐藤善次郎 鈴 井前 野木文彌 野木武司 加藤正保 志賀信雄 志賀定 藏 藤原正 石島徳茂 石 島 徳 藤原正 石島徳茂 石 島 徳 藤原正 石島徳茂 石 島 徳

庭運動

平第二小學校に於ける秋季運動會

平第二小學校に於ける秋季運動會は來る十月三日同校庭に於て催される

燈下漫録

滿洲莊主人 註(向白)芭蕉の門人、江左氏、近江天津の人

注(向白)芭蕉の門人、江左氏、近江天津の人 註(丹波)或本に難波とあり (釋)先師此句に就て申さるゝには此句を向白に見せた處、

向白難んじて云ふ近江は丹波にも、行春は行く年にもなるべしと、去來の前はどう思ふかと、去來の言ふのに、向白が難辭當りません、潮水の面が水煙か霞か鬼に角膝腫としてゐる有様は春を惜しむと言ふ情にしくり合つて居て殊に今日眼前に見る此景色の上で明らかでありませうと申しましたら先師の仰せにさうだ、だ、古人も此國に來て又は居て此潮水の春を愛すること都の春を愛するに劣らないものがあつたと仰せられたので去來此の詞心に徹して向白が批難が心づくてならぬ考へても見よ翁がもし年の暮れに此近江の國此琵琶湖のほとりに居られたらとていかでか此感が起るだらうか、まして行春に丹波の國に居られたら決して此感が浮び出される筈がない、周囲の景色、眼前の氣象等の人の眼に感じしむと云ふ古人の言葉の眞實なるを今こそ悟りました、と申しした處先師の仰せにお前と去來と云ふ男お前は共に共に風雅をかたるとを得るに足るよき弟子よき友であるぞよと云はれた事もありましたつて

- 赤塚彦治 鈴木重助 金子豊吉 津谷佐一 市原卯太郎 子重次 石崎幸一 森川泰一 伊藤真一 安齋勝美 平 北佐三郎 水口ハヤ 日 澤キクエ 飯沼林一 石川ト 藤 眞木隆四郎 齋藤善吉 鈴 木千代吉 鈴木信雄 金子直 水口久次郎 佐藤善次郎 鈴 井前 野木文彌 野木武司 加藤正保 志賀信雄 志賀定 藏 藤原正 石島徳茂 石 島 徳 藤原正 石島徳茂 石 島 徳

柿の成分に就て

宮城縣農試場 岡本生
精分は概して先端部に多かりしも、タンニンとの關係に於ては一定の傾向が見られ、尙ほ此の比率は熟度との關係がある様である。

供試材料多く熟度等も確定的ならず、従つて成分の差異は何に基因せるかは不明なるも、大体柿果の主体をなす糖分及びタンニンを夫々一般的に方法により定量した、可食部分は大体全果量の八三%より八八%の間であり、平均八五%である、水分は八三%より八五、六%を示し、糖分は新鮮物中一〇%乃至一二%にして乾物にては七〇%前後となり、タンニンは新鮮物中〇、五%内外より多きは一%となるも平均〇、六乃至〇、七%が普通である、乾物では五%内外を合んで居る、糖分タンニンの各成分は概して先端部に多い様である。(終り)

今年品薄
會津不知身は暴風被害の爲
石城地方に於ける本年の柿作は名産「不知身」を初め非常な豊作で來十月二十五、六日頃から出廻る模様であるが本年の生産は昨年比し三、四割増と唱ひられてゐるから共同出荷による郡外移出も七千箱(一箱止味六貫目づつ)四万二千貫位に上るであらうと云はれてゐるが昨二十一日の暴風が本縣不知身柿名産地である會津地方が被害甚だしい模様であるから品不足の結果は收穫期に於て相當の高騰を豫想され石城郡農會では仲買商等の甘言に迷はされぬ様共同出荷奨励かたゝ近く生産當業者に注意を發することになつたが産地町村が結束すれば五万貫位は何んでもないと云はれてゐる。

千貫位に上るであらうと云はれてゐるが昨二十一日の暴風が本縣不知身柿名産地である會津地方が被害甚だしい模様であるから品不足の結果は收穫期に於て相當の高騰を豫想され石城郡農會では仲買商等の甘言に迷はされぬ様共同出荷奨励かたゝ近く生産當業者に注意を發することになつたが産地町村が結束すれば五万貫位は何んでもないと云はれてゐる。

磐城名産特賣所

御土産物には郷
石城みやげ
七濱の生産品
地元産の果實
平みやげ
名菓各種
土の名産が第一

多田井質店
平町大工町 電話五九二番

強力殺虫劑
ネオマツソール
片腦油
ハイトリ粉

山野邊藥局
胃腸藥發賣元
山野邊東次郎
藥劑士 山野邊東次郎

山崎合名會社
山崎與三郎

お醤油はヤマフル

明治生命磐城代理店

帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關内正一
平町二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

木村病院
平町新川町九一
入院隨意 病室完備
電話一六四番

長木村寅次郎
婦人科 外科 醫學博士 內木宗八
藥局 藥劑師 立蕃彌一

朝日煙草
石綿セント
朝日煙草

水野石炭店
平町郵便局通り
電話二九九番

有給外務員招聘
一德合資會社平支店
平町南町一九
出張所 四倉町本町九一九
湯本町三三〇一

平看護婦會
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町 電話三〇七
會長 清野キヨ

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)藤田女學校前
入院應需 鈴木醫院

水野藥局
製劑販賣元
平町一丁目(電話九九番)
磐城平町一丁目(電話九九番)
振替口座仙八八七六番

朝日煙草
石綿セント
朝日煙草

水野石炭店
平町郵便局通り
電話二九九番

有給外務員招聘
一德合資會社平支店
平町南町一九
出張所 四倉町本町九一九
湯本町三三〇一

平看護婦會
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町 電話三〇七
會長 清野キヨ

水野石炭店
平町郵便局通り
電話二九九番

水野石炭店
平町郵便局通り
電話二九九番

平看護婦會
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町 電話三〇七
會長 清野キヨ

有給外務員招聘
一德合資會社平支店
平町南町一九
出張所 四倉町本町九一九
湯本町三三〇一

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)藤田女學校前
入院應需 鈴木醫院

水野藥局
製劑販賣元
平町一丁目(電話九九番)
磐城平町一丁目(電話九九番)
振替口座仙八八七六番

木村病院
平町新川町九一
入院隨意 病室完備
電話一六四番

長木村寅次郎
婦人科 外科 醫學博士 內木宗八
藥局 藥劑師 立蕃彌一